

議員提出第6号議案

児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第13条第1項の規定により提出する。

平成28年3月24日

提出者

足立区議会議員	た が た	直 昭
同	吉 岡	茂
同	渡 辺	ひであき
同	鴨 下	稔
同	鈴 木	あきら
同	鈴 木	けんいち
同	馬 場	信 男
同	長 井	まさのり
同	岡 安	たかし
同	ぬかが	和 子
同	くぼた	美 幸
同	た だ	太 郎

足立区議会議長 高山 のぶゆき 様

(提案理由)

政府に対し、児童虐待防止対策の抜本強化を求めるため、本案を提出する。

## 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

家庭や地域における養育力の低下、子育ての孤立化や不安・負担感の増大等により、児童虐待の相談対応件数は増加の一途をたどり、複雑・困難なケースも増加している。こうした現状に鑑み、政府は平成27年12月、すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクトにおいて「児童虐待防止対策強化プロジェクト」を策定した。

よって、足立区議会は政府に対し、児童虐待発生予防から発生時の迅速かつ的確な対応、被虐待児童への自立支援に至るまでの一連の対策強化のため、早期に児童福祉法等改正案を国会に提出するとともに、下記事項についてもすみやかに実施するよう強く求めるものである。

### 記

- 1 児童虐待の発生を予防し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を実現するため、「子育て世代包括支援センター」を法定化し、全国展開を図ること。また、孤立しがちな子育て家庭へのアウトリーチ支援を強化するため、子育ての不安や悩み等を抱える家庭への養育支援訪問事業や、ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）事業をすべての自治体で実施できるようにすること。
- 2 児童相談所全国共通ダイヤル「189」のさらなる周知を図るとともに、児童相談所につながるまでに数分かかっている実態等を早急に見直し、通報しやすい体制を整えること。また、通報に対し、緊急性の判断や関係機関との連携を的確に行える体制整備にも努めること。
- 3 児童虐待が発生した場合、迅速かつ的確な初期対応が行われるよう、児童相談所の体制や専門性を抜本的に強化すること。特に児童福祉司、児童心理司、保健師等をはじめとする職員の増員と配置の充実、子どもの権利を擁護する観点等から弁護士を活用等を積極的に図ること。
- 4 学校や医療機関、警察等関係機関における早期発見と適切な対応を図るため、児童相談所と関係機関との間における緊密な連携体制を再

